

■友好締結40周年 江戸川区で記念植樹

東京都江戸川区との友好都市盟約締結40周年を記念し3月26日、記念植樹が江戸川区総合文化センター前の広場で行われました。市からは村上副市長、橋渡教育長、宮下市議会議長が出席。多田正見・江戸川区長、高木秀隆・区議会議長と共に、市が寄贈した市の木「ケヤキ」を植樹しました。式典で村上副市

長は「屋敷林として市民に親しまれているケヤキが、友好の証として江戸川区でも根付き、交流が益々発展して欲しい」とあいさつしました。

同区との交流は、旧穂高町が旧有明小学校跡地を江戸川区へ譲渡したことが縁で始まり、昭和49年に友好都市盟約を結びました。昭和51年、旧小学校跡地



記念植樹の様子

に江戸川区民健康施設「穂高荘」ができ、相互訪問による交流事業が行われてきました。平成19年に市として友好都市提携を結び直し、区民まつりへの参加やスポーツ活動、江戸川区花火大会に安曇野の子どもたちを招待していただくなどの交流を通じて友好を深めています。

■アルプス保育園が起工

アルプス保育園建設工事の起工式が3月13日、現地で行われました。この日は工事関係者など60人が出席し、工事の安全を祈願しました。昭和50年に建てられた現在の園舎は老朽化が進み、未満児保育・長時間保育などへ対応するには施設が手狭になっていました。

新しい園舎は現在の園舎の



あいさつをする
宮澤市長

東に建築し、敷地面積は約7127平方メートル、鉄骨平屋建て、建物面積は約1441平方メートルで、定員は少子化を見据え20人減の100人

となり、未満児保育、長時間保育に対応できる園舎となっています。建設事業費は5億5700万円で、完成は平成28年4月の予定です。

宮澤市長は「次代を担う子どもたちがのびのびと育ち、安心して子育てができる環境づくりを進めていきます」とあいさつしました。



アルプス保育園完成予想図

■国際感覚を育む 中学生をオーストラリアへ派遣

中学生海外ホームステイ交流派遣事業が3月21日から30日までの10日間の日程で行われました。3月14日には出発式が豊科交流学习センター「きぼう」で行われ、中学生12人を宮澤市長らが激励しました。

この事業は、国際社会に対応できる人材を育成するため、国際感覚を養い、英会話能力の向上を目的に初めて行ったもので

す。中学生は、派遣先のオーストラリア・メルボルン市内の家庭にホームステイしたほか、現地の学校の日本語講座で日本の紹介などの交流事業も行いました。

なお、中学生の体験記などは、今後発行の広報あづみのに掲載する予定です。



激励の言葉をかける宮澤市長（写真中央）

■明科南保育園の移転先 検討委員会が報告

明科南保育園建設検討委員会（宮川智江古委員長）は3月23日、村上副市長へ同保育園の建設候補地を報告しました。

報告では、園児の生活環境や用地確保のしやすさなどから、候補地に市教育委員会事務局が使用し、5月の新本庁舎開庁後取り壊しが決まっている旧明科公民館の敷地を選定しました。昭和51年建設の現明科南保育園



報告書を手渡す宮川委員長（写真左）

は老朽化が進み、耐震面や防災面から移転・新築が必要とされ、平成23年に候補地を選定しましたが、建設費用などの面から再検討してきました。

市では検討委員会の報告を受け、旧明科公民館取り壊し後、事業に着手し、早期の新園舎建設を目指します。

表敬訪問

全国で活躍！安曇野の子どもたち

全国大会出場または出場を前に3月11日、宮澤市長を表敬訪問した皆さんを紹介します。（敬称略・所属は訪問当時）



訪問した皆さん

第14回全国小学生ソフトテニス大会（千葉県白子市）
大鷹颯矢、堺千花、杏琴羽（穂高南小）、白井琥珀、白井優月、平川優里愛、山本咲季、白井瑠々風（穂高北小）浅川緑心、古幡悠馬、矢巻希乃香、石垣愛梨（穂高西小）中田杏咲（堀金小）吉川実来（豊科南小）
第37回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会（東京都江東区）
望月恵（豊科高）坂口めい（穂高北小）
第12回全国ホープス選抜卓球大会（富山市）
第54回大阪国際招待卓球選手権大会ホープスの部（優勝）（大阪市浪速区）
手塚峻馬（豊科南小）